

## 立体・彫刻

土井要輔(1986-1967/松山市出身)、伊藤五百亀(1918-1992/西条市出身)、芥川永(1915-1998/西条市出身)ら県出身で中央で活躍した、具象彫刻から新たな表現を模索した彫刻家の作品に加え、小清水漸(1944- /宇和島市出身)に関連し、1970 年前後「もの派」として注目を集めた、李禹煥(1936- )、榎倉康二(1942-1995)の作品も収蔵しています。また、「具体」の一員として松山から参加していた坪内晃幸(1927-2005/松山市出身)の作品は、資料を含み約 80 点収蔵。廃材と金箔を用いた独自の表現が評価され、風景芸術へと向かった田窪恭治(1949- )/今治市出身)の作品は、フランスのサン・ヴィゴール・ド・ミュー礼拝堂の再生プロジェクト関連作品 10 点を含む 22 点を所蔵しています。



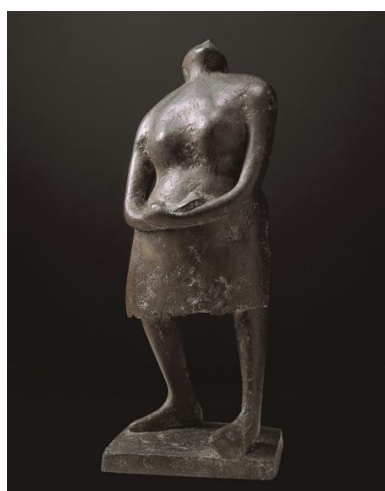
土井要輔 DOI Yosuke

《裸婦》

1962(昭和 37)年(1997 年鑄造)

ブロンズ

105.0×54.0×88.0cm



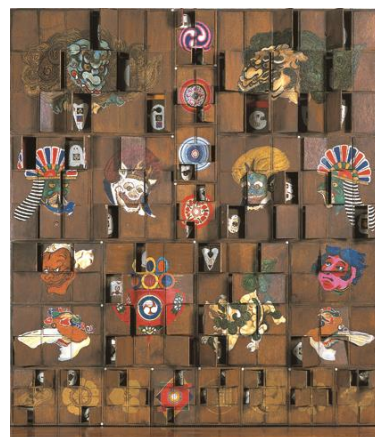
芥川 永 AKUTAGAWA Hisashi

《遠くの声》

1978(昭和 53)年

ブロンズ

76.0×30.0×28.0cm



磯部行久 ISOBE Yuki-hisa

《WORK' 65-11~34》

1965(昭和 40)年

ミクストメディア

239.2×213.0×23.0cm



小清水 漸 KOSHIMIZU Susumu

《舟・赤い》

1986(昭和 61)年

檜・水銀朱・水/白大理石・塩地

75.0×150.0×147.0cm



榎倉康二 ENOKURA Koji

《干渉(STORY-No.19)》

1991(平成 3)年

アクリル塗料・アクリル絵具・木材/綿布

197.0×380.0×26.0cm



田窪恭治 TAKUBO Kyoji  
《黄昏の娘たち (83-3)》  
1983(昭和 58)年  
金箔・蜜蝋／木



撮影：田窪大介

田窪恭治 TAKUBO Kyoji  
《壁の向こう(サン・ヴィゴール・ド・ミュー礼拝堂のためのプロジェクト)》  
1988(昭和 63)年  
木・コンクリート・水性パテ・水彩・クレヨン・オイルステイン・クリアラッカー



坪内晃幸 TSUBOUCHI Teruyuki  
個展「オブジェの終章」より  
2000-2005(平成 12-17)年  
段ボール・アクリルチューブ